

クラス番号	607	担当教員名	湯原 悦子
テーマ	社会問題の真の「解決」について考える －権利侵害、虐待、非行、犯罪などの事例を通して		
著書・論文	著書:『介護殺人－司法福祉の視点から』 クレス出版 2005 年(単著)、『介護家族をささえる－認知症家族会の取り組みに学ぶ』中央法規出版 2012 年(共編著) 論文:「介護者セルフアセスメントシートの開発」『日本認知症ケア学会誌』12(2) 2013 年、「介護殺人の事例研究」『司法福祉学研究』第 12 号 2012 年、「子ども虐待死の検証に関する考察－先行研究の到達点と今後の課題」『子どもと福祉』第 1 号 2008 年		
研究課題等			

ゼミナール 概要

キーワード：権利擁護、虐待、非行、犯罪

＜達成目標＞

2 年経った後、ゼミ生一人ひとりが「人権の尊重」に対する自分なりの視点を持ち、複雑な社会問題を読み解き、課題の克服のために動き出せる力を身に付けていることを目指します。

＜内 容＞

このゼミでは、主に2つのテーマを掘り下げていきます。一つは権利侵害事例、主に虐待、非行、犯罪などに関する具体例を学び、現代の家庭や地域、社会が抱える問題を理解することです。もう一つはこれらの問題が生じる背景を読み解き、自分なりの問題意識を持ち、課題克服に向けて何をすべきか構想できる力を身に付けることです。

「社会福祉」は現代社会に起こっている社会問題を対象として、その解決・緩和をはかる公的社会福祉施策の一つです。この社会問題のなかには、「法にふれる行為」とされる犯罪や非行問題のように、必ず「司法」を通じて解決を図らなければならない問題群があります。ただし、司法における法的な問題解決は、必ずしも臨床的な視点からみた問題解決であるとは限りません。裁判が終わっても、事件の背景となった社会的な問題の解決がなされていなければ、同様な事件が再発する可能性は高いのです。大事なことは、なぜそのような事件が生じてしまったのか、加害者はなぜそこまで追い詰められたのかなどについて、社会科学の視点から明らかにし、解決の道を模索していくことではないかと考えます。

このような問題意識から、ゼミでは具体的な権利侵害事例(虐待や非行、犯罪など)などを取り上げ、問題の本質は何なのか、問題解決に向けどのようなアプローチ方法があり得るか、それらの限界は何か、家庭や地域、社会に求められることは何か、などを考えていきたいと思います。そして1年後には、ゼミ生それぞれが自分自身の課題を見つけることができるよう、個別指導に力を入れていきたいと思っています。

＜方法と授業計画＞

3 年生の前期では、皆で定めたテーマに関する資料や文献を読み、基礎知識の習得を目指します。毎回、報告者が資料や文献の要約を発表し、それに基づき皆で話し合いを行うことによって知識を深めていきます。その際にレジュメの書き方、発表の仕方、話し合いの仕方も学びます。3 年生の後期では、具体的な事例の検討を繰り返すことにより、個々の問題解決能力を高め、得た知識を使える知識にしていきます。必要に応じ、地域の市民団体や支援を行っている機関などの訪問、ソーシャルワーカーへのヒアリング、具体的事件の裁判傍聴なども行います。

4 年次では今までの学習をもとにそれぞれが研究テーマを設定し、4 年間の集大成として卒論執筆に取り組みます。また、ゼミの時間に卒論の中間発表を行い、皆での話し合いを通して気づきを深め、問題点への切り込みをより鋭くしていきます。

※ゼミの時間以外に行う活動について

ゼミ生の皆さんには、社会の現実を知っていただくために市民団体への訪問や具体的事件の裁判傍聴、この領域の最新の動向を知ることができる研究会や学会への参加を奨励しています。ただし、これらの活動は週 1 回のゼミの時間内では行うことができません。時には時間外、交通費のかかる活動への参加も予定しておいてください。

※学習内容の注意点

3 年後期に学ぶ課題は、学生の興味関心、意向を確認したうえで決定します。

担当教員からのメッセージ



・将来どのような職場で働くにしても、福祉の知識とともに司法の視点を身につけておくとは必ず役に立ちます。司法福祉のゼミ、という難しい内容を思い浮かべるかもしれませんが、法律論を学ぶのではなく、現実の世の中で生じている事例をもとに法の用い方を学びますので理解しやすいと思います。

・エントリーシートを頼りにゼミ生を決定しますので、ご自身の関心や疑問に思っていること、ゼミでやりたいことなどを丁寧に書いてください。

・ゼミは講義と違い、一人ひとりの個性を尊重し、お互いに学び合える場です。分からないことや興味をもったことを率直に出し合い、柔軟に考えていく姿勢を大事にしたいと思っています。

…皆さんとの出会いを心から楽しみにしています！